



京都大学大学院教育学研究科教授
明和政子先生 講演会

本講演会は公益財団法人ペガサス財団の助成を受けて実施しています。

AI共生時代にこそ必要となるヒトの育ちの環境を考える
「脳科学×食」の最前線から



2025年 12月20日(土)

- ・日時：2025年12月20日（土）14:00～16:00（受付：13:30～）
- ・場所：豊川市音羽文化ホール（愛知県豊川市赤坂町松本250）
- ・入場無料／事前申込み制（定員：300名）※託児はありません
- ・申し込み：右記QR、またはお電話/FAX(下記参照)にてお申込みください。

参加申込フォーム



※FAXでお申込みの場合は、氏名（フリガナ）、連絡先、所属団体名、来場手段（自家用車・電車等）をご連絡ください。

※定員になり次第受付を終了します。

AI共生時代と言われるデジタル社会の中を生きる子どもたち。そんな子どもたちの豊かな成長・発達を保障するためには何が必要か、どんな環境が求められているのか・・・子育ての本来のあり方について、最先端の研究を踏まえてお話しいただきます。以前の明和先生の講演会参加者からは「人類の子育てについて、科学的な裏付けをもって理解することができた」「共同養育がいかに必要かを感じた」などの感想が寄せられています。

講師：明和政子先生 プロフィール

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（教育学）。京都大学靈長類研究所研究員、京都大学大学院教育学研究科准教授などを経て、現在、京都大学大学院教育学研究科教授。日本学術会議第一部会員、文部科学省科学技術学術審議会委員、こども家庭庁こども家庭審議会臨時委員。専門は発達神経科学・靈長類学。ヒトとヒト以外の靈長類を胎児期から比較し、ヒト特有の脳とこころの発達の機序とその生物学的基盤を明らかにする「比較認知発達科学」という分野を世界にさきがけて開拓した。

近著に『マスク社会が危ない—子どもの発達に「毎日マスク」はどう影響するか？（宝島新書）』『ヒトの発達の謎を解く—胎児期から人類の未来まで（ちくま新書）』『まねが育むヒトの心（岩波ジュニア新書）』など多数。NHKスペシャル『ママたちが非常事態！？ 最新科学で迫るニッポンの子育て1・2（2016年放送）』『ニッポンの家族が非常事態！？ 第1集わが子がキレる本当のワケ（2017年放送）』『ジェンダーサイエンス 男X女 性差の真実（2021年放送）』等の監修・出演により、現代社会に生きるヒトが抱える問題を最新科学の知見から理解する活動にも力を注いでいる。『こどもちょうせんバラエティ いろいろ（読売テレビ、毎週日曜6:30～）』の監修も行っている。

主催：社会福祉法人恵の実 後援：豊川市教育委員会

【お問い合わせ】

社会福祉法人恵の実 担当：鈴木、吉澤

E-mail：honbu.enomi@gmail.com TEL: 0533-65-9801 FAX: 0533-84-9777

ENOMI WEBSITE

